

POPs廃棄物への建設業界の対応

平成28年12月 7日

(一社)日本建設業連合会



確かなものを 地球と未来に

一般社団法人 **日本建設業連合会**

JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

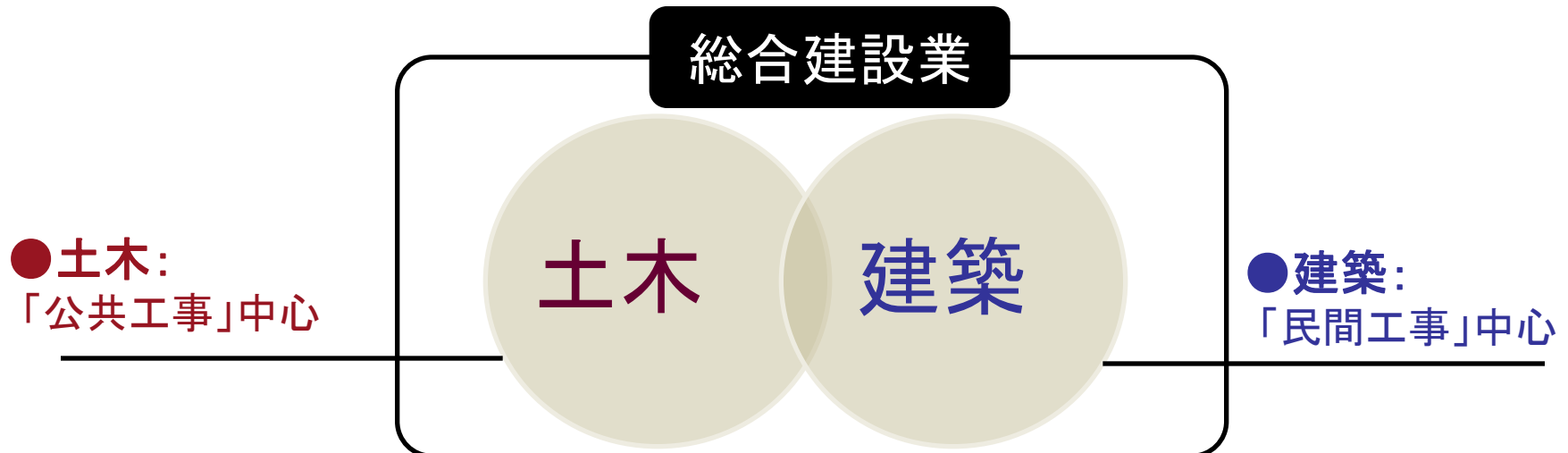
(一社)日本建設業連合会とは

- (一社)日本建設業連合会は、全国的に建設工事を営む企業及び建設業者団体の連合会。
- 法人会員139社＋団体会員5団体、特別会員7社で構成。
- 建設業界全体における当会会員の完成工事高*¹比率は約30%*²

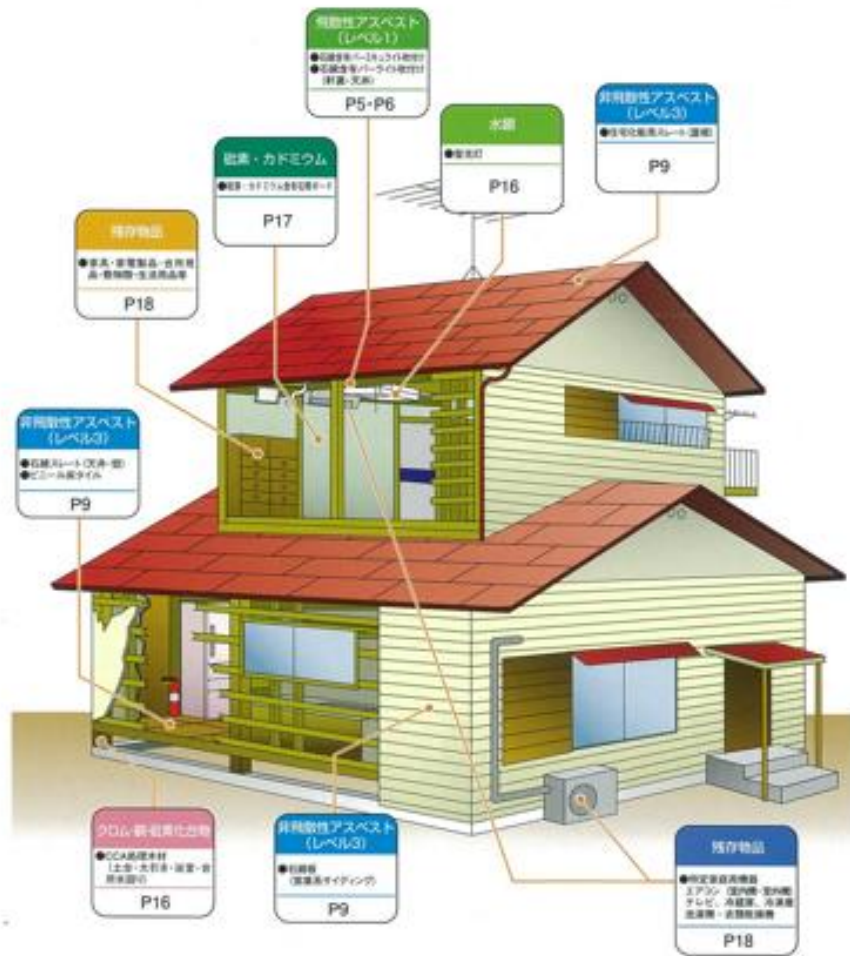
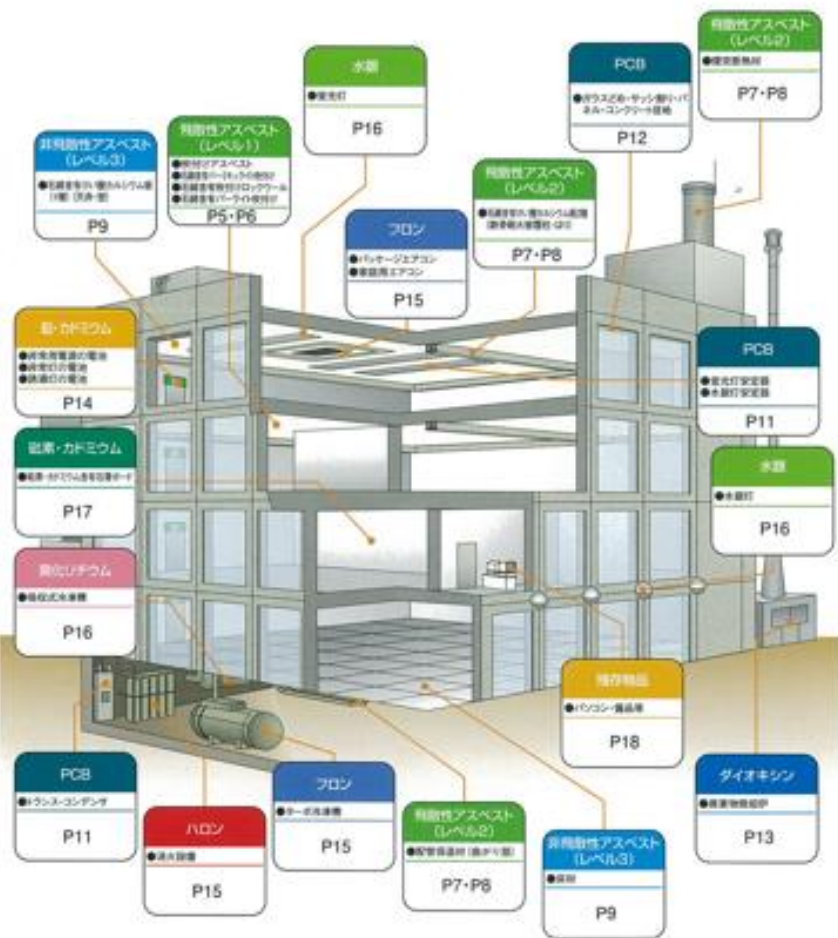
*1：年度内に引渡しが完了した工事の請負金額

*2：平成24年建設工事施工統計調査報告より

(参考：建設業許可業者数 約47万社)



建築物に使用されている有害物質等を含む建材等



出典：建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱い
(建設副産物リサイクル広報推進会議)

建設業に関連するPOPs

(1) PCB

解体・改修工事で撤去する機器類について、製造年・機器番号を調査、低濃度PCBの分析等を実施し、該当すれば発注者に保管・処理責任があるため、適正な処理の方法を説明の上で引き渡している。

(2) ダイオキシン類

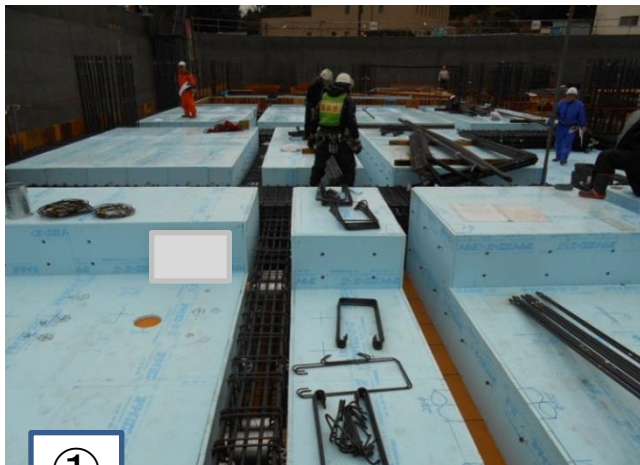
焼却炉等解体時には、厚生労働省マニュアルに従い、付着物のダイオキシン濃度を分析の上、隔離等適切な措置を実施している。

除去物の含有量が 3ng-TEQ/g を超える場合は、特別管理産業廃棄物として熔融処理・セメント固化処理等をした上で、管理型処分場にて埋め立て処分されるのが一般的である。

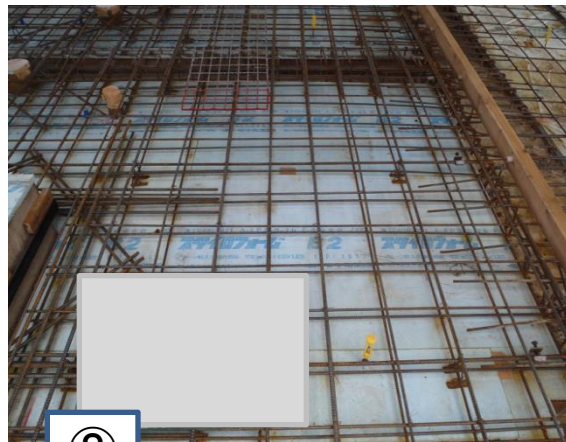
建設業に関するPOPs

(3) 臭素系難燃剤(HBCD); 発泡断熱材(XPS、EPS)が該当

躯体への打ち込み利用 A



①



②



③

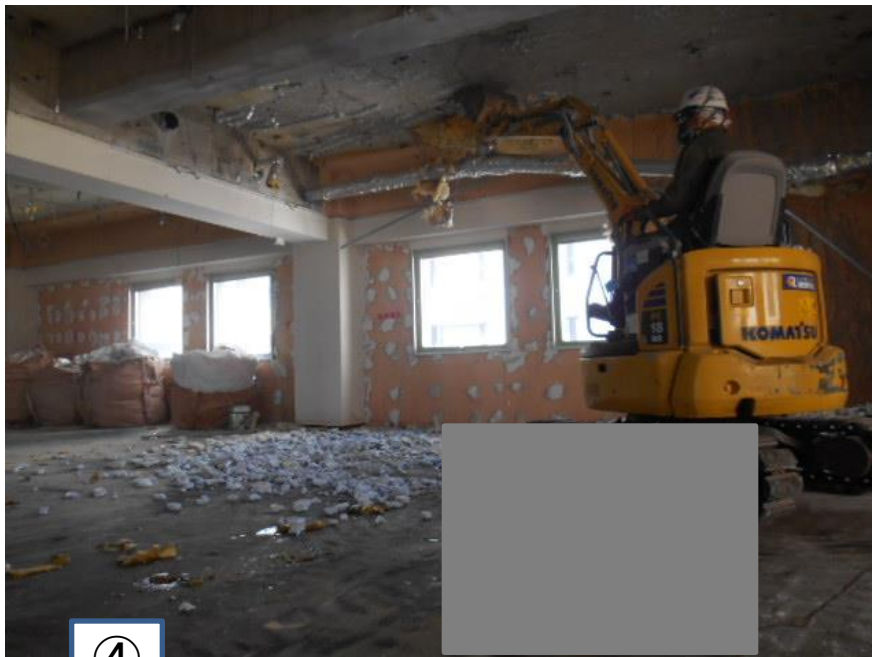
建設業に関連するPOPs

(3) 臭素系難燃剤(HBCD) ; 発泡断熱材(XPS、EPS)が該当

躯体への打ち込み利用 A

建設リサイクル法の
「付着物に該当」

先行撤去が原則

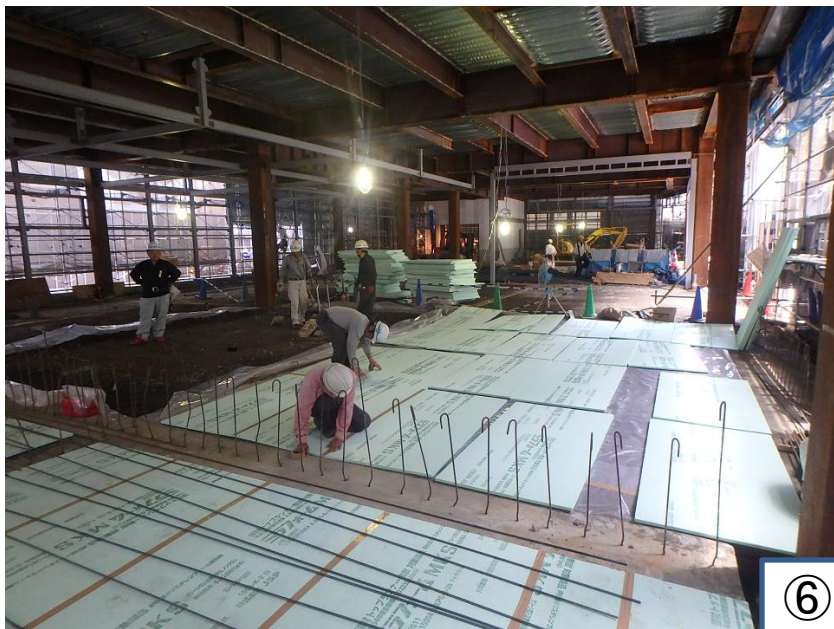


④

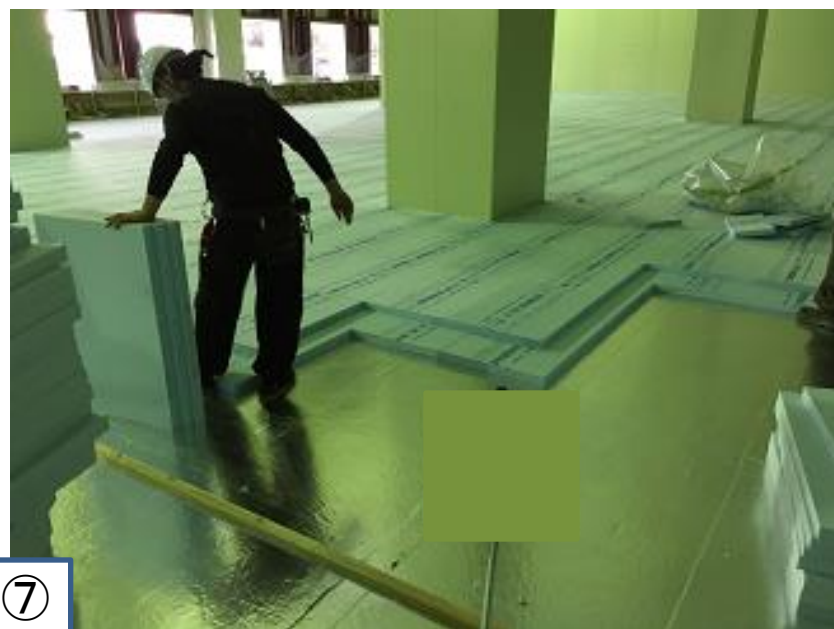


⑤

躯体への打ち込み利用 B



⑥



⑦



⑧



⑨



建設業に関するPOPs

(3) 臭素系難燃剤(HBCD); 発泡断熱材(XPS、EPS)が該当

畳・パーティション等に利用

製品形状で搬出



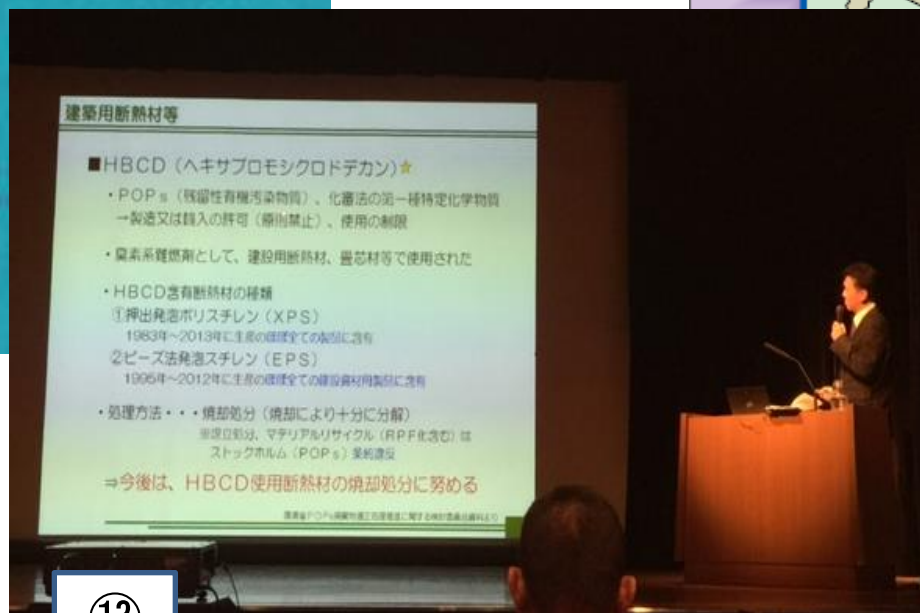
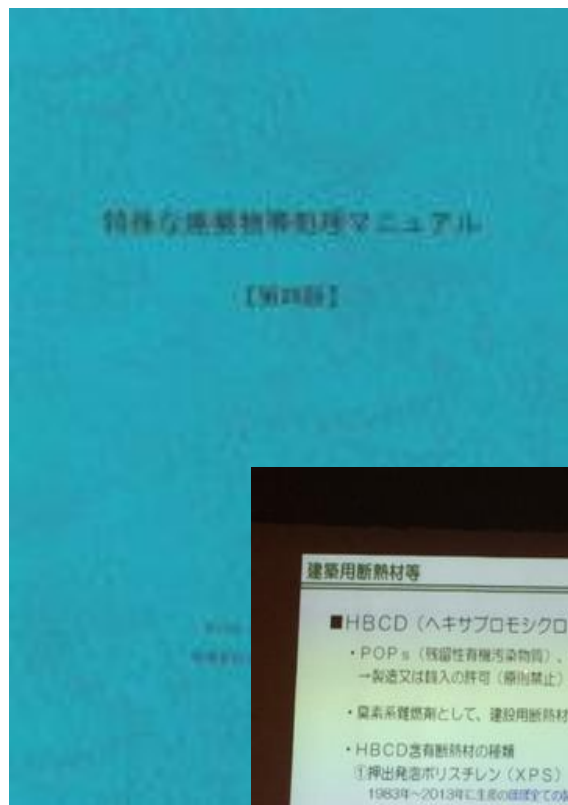
⑪



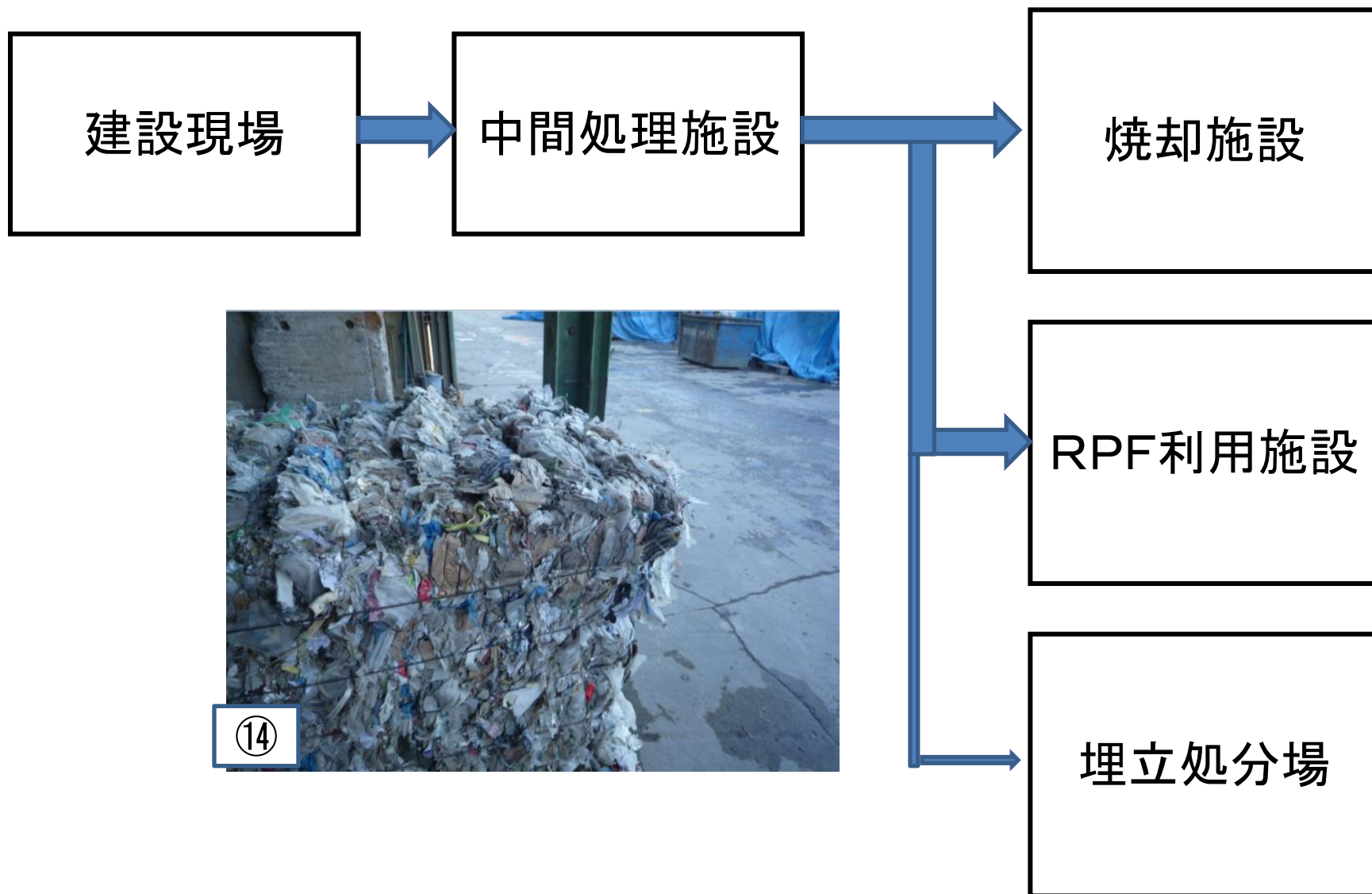
⑫

出典:ダウ化工(株)

従来からの建設業界の取組み



現状の発泡断熱材の処理ルート



日建連のPOPs廃棄物への対応

「特殊な廃棄物等処理マニュアル」を改訂し、周知に努める。

- ① 「断熱材フロン(発泡ウレタン、発泡ポリスチレン)」の項を「発泡断熱材」と改める。
- ② 発泡ポリスチレンについては、フロン対策のみならずPOPs対策の観点からも、分別回収し、焼却処分することが望ましいことを記載する。
- ③ 適正処理講習会などでも積極的に取り上げる。

要望事項

- 現状、工事現場から発泡断熱材を直接最終処分や焼却を委託するケースはほとんどなく、ほぼすべて中間処理施設に処理委託しています。
- 中間処理施設で圧縮梱包等した上での2次処理先は、基本的に中間処理業者が選定しています。
- したがって、排出事業者として中間処理業者への要望はいたしますが、関係行政からも処理業界に適切な指導をいただきたい。
- また、本件により処理コストが上がる場合には、発注者に適正な処理費用を負担するよう、引き続き指導いただきたい。